

CDDP+PEM

实施部署区分

☒入院 ☒外来 ☐処置

非扁平上皮肺がん(75歳未満)

☒ 進行・再発

☐ 補助療法(術前・術後)

☐

☐ 原則PSO-1を対象とする

Pit $\geq$ 5万/mm3かつANC<500/mm3
Pit<5万/mm3
ANC<1000/mm3かつ38.5℃以上
前コースで上記のいずれかを満たすとき75%doseに減量。
Pit<5万/mm3かつ出血を認めるとき50%doseに減量。
Grade3-4の粘膜炎を認めるとき、アリムタの50%doseに減量
CLor:60mL/min未満の場合GDDPを2日間以上かけて投与する。

総クール数 4-6クール

ANC	1500/mm3未満	PLT	7.5万/mm3未満※
Hb	8.0g/dL未満※	CLcr	45mL/min未満
AST,ALT	120IU/L以上*	T-bil	1.8mg/dL以上*
その他	* 肝転移がある症例では、AST,ALT 200IU/L以上、T-bil 3mg/dL以上とする。		

※出典ではPlt 10万/mm³未満、Hb 9.0g/dL未満だが、制限が厳しいためGrade2の血液毒性として上記の値で登録

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
ペメトレキセド	500mg/m ²	NS50mL (全量80mL以下)	10分	d1
シスプラチン	75mg/m ²	輸液適量 計500mL	120分	d1
ペメトレキセド投与1週間以上前～最終投与日から22日目まで、葉酸0.5mg/日を連日経口投与とビタミンB12 1mg/回を9週間毎に筋注。				

1日投与順
(経時の「プレ Medikation」→「ポスト Medikation」
溶解液まで含む)

day1

アプレビタクト125mg 内服

①輸液1000mL(3時間)

②アロキシ0.75mg/kg + デキサート9.9mg
 (15分)

③硫酸マグネシウム20mL + ソルテム3A 200mL
 (30分)

④生食50mL(フラッシュ)

⑤ヘパレキセド500mg/m² + 生食(100mL)50mL
 (10min)

⑥生食50mL(フラッシュ)

⑦マンニット250mL(30分)

⑧シスプラチン75mg/m² + 輸液適量計500mL
 (2時間)

⑨マンニット250mL(30分)

⑩輸液500mL + プロゼド20mg(1.5時間)

⑪輸液500mL(1.5時間)

day2-3

アプレビタクト80mg 内服

①デキサート9.9mg + 輸液50mL(15分)